

## 山田 泰広 名誉教授 略歴・業績

### 略 歴

- 1950 年 5 月 2 日 愛知県に生まれる
- 1973 年 3 月 愛知県立大学外国語学部英米学科卒業
- 1976 年 3 月 名古屋大学大学院文学研究科修士課程修了
- 1976 年 4 月 岐阜工業高等専門学校助手（1977 年 3 月まで）
- 1977 年 4 月 岐阜工業高等専門学校講師（1979 年 3 月まで）
- 1979 年 4 月 南山短期大学講師（1986 年 3 月まで）
- 1984 年 9 月 留学（イギリス）（1985 年 8 月まで）
- 1986 年 4 月 南山短期大学助教授（1995 年 3 月まで）
- 1988 年 4 月 南山短期大学外国語研究センター研究員（1989 年 3 月まで）
- 1992 年 4 月 南山短期大学外国語研究センター研究員（2000 年 3 月まで）
- 1995 年 4 月 南山短期大学教授（2011 年 3 月まで）
- 2011 年 4 月 南山大学短期大学部教授（2019 年 3 月まで）
- 南山大学短期大学部長（2014 年 3 月まで）
- 2014 年 4 月 南山大学評議員（2016 年 3 月まで）
- 2015 年 4 月 研究休暇（2015 年 9 月まで）
- 2019 年 3 月 南山大学退職
- 2019 年 4 月 南山大学名誉教授

## 学 会

日本英文学会会員（1973 年 4 月～現在に至る）

中部英文学会会員（2008 年 4 月～現在に至る）

名古屋大学英文学会会員（1973 年 4 月～現在に至る）

日本ホプキンス学会関西部会会員（代表）（1983 年 4 月～現在に至る）

日本 T.S. エリオット協会会員（1988 年 11 月～現在に至る）

## 業 績

### 〈著書〉

1. 『イギリス詩を学ぶ人のために』〔共著〕（世界思想社，2000），334p.
2. 『イギリス文化を学ぶ人のために』〔共著〕（世界思想社，2004），364p.
3. 『英米文学における父の諸変奏』〔共著〕（英宝社，2016），372p.（担当部分 29p）

### 〈学術研究論文〉

1. “A Study of T.S. Eliot”〔单著〕修士論文（1976/01）41p.
2. 「『荒地』の草稿について」〔单著〕『岐阜工業高等専門学校紀要』第 13 号（1978/01）pp.107-112
3. “A Reading of “The Windhover””〔单著〕『岐阜工業高等専門学校紀要』第 14 号（1979/01）pp.79-92
4. “Hopkins’Sonnet No.69 and his Spiritual Crisis”〔单著〕『南山短期大学紀要』第 10 号（1982/12）pp.111-124
5. “Who Could Crowd Alfonso’s Career with Conquest?—”In honour of ST. ALPHONSUS RODRIGUEZ” and the idea of God Almighty —”〔单著〕『南山短期大学紀要』第 11 号（1983/12）pp.1-12

6. “Hopkins’ “Hurrahing in Harvest” — Emotion, Object, and Utterance — ”[单著]  
『南山短期大学紀要』第 13 号（1985/12） pp.153-165
7. 「賛美から祈りへーホプキンズの『春』を読むー」[单著]『NONDUM』  
第 5 号（1987/01） pp.63-71
8. 「『ドイチュランド号の難破』の物語を楽しむ」[单著]『NONDUM』第 6  
号（1989/12） pp.84-98
9. “Sprung Rhythm, Sonnet and the Perfection of Form”[单著]『南山短期大学紀要』  
第 17 号（1989/12） pp.21-35
10. “The Symbolic Flowers in the Poetry of Gerard Manly Hopkins” [单著]『南山  
短期大学紀要』第 19 号（1991/12） pp.17-31
11. 「YOU か THOU か、それが問題だーホプキンズと二人称代名詞ー」[单著]  
『NONDUM』第 7 号（1993/02） pp.33-41
12. “Simile in Hopkins” [单著]『南山短期大学紀要』第 21 号（1993/12）  
pp.51-65
13. 「『トムの花輪』と『農夫ハリー』における労働者像について」[单著]『南  
山短期大学紀要』第 23 号（1995/12） pp.1-14
14. 「美は細部に宿る — “The Sea and the Skylark” における表現の美 — 」[单著]  
『NONDUM』第 8 号（1997/02） pp.93-101
15. 「マザー・グースまたは韻の綴れ織」[单著]『南山短期大学紀要』第 26  
号（1998/12） pp.51-61
16. 「共鳴する精神 — G. M. ホプキンズとロマン・ヤコブソン — 」[单著]  
『NONDUM』第 9 号（2001/03） pp.48-59
17. 「ミルトンを範として — ホプキンズのランニング・リズム — 」[单著]  
『NONDUM』第 10 号（2003/02） pp.16-27
18. 「近世英国社会と肖像画の伝統」[单著]『南山短期大学紀要』第 31 号  
（2004/01） pp.33-51
19. 「言葉が歌になる時：『夏の名残りのバラ』対『庭の千草』」[单著]『南

- 山短期大学紀要』第 32 号 (2004/12) pp.25-37
20. 「言葉が歌になる時 (II): "Home Sweet Home" と『埴生の宿』」[単著]『南山短期大学紀要』第 33 号 (2005/12) pp.113-131
21. 「ホプキンズの『インヴァースネイド』— インスピレーションとデザイン —」[単著]『南山短期大学紀要』第 34 号 (2006/12) pp.43-57
22. 「ホプキンズのソネット — 伝統への挑戦 —」[単著]『南山短期大学紀要』第 35 号 (2007/12) pp.59-69
23. 「テキスト推敲から見たホプキンズの作詩法 — "Hurrahing in Harvest" を例として」[単著]『NONDUM』第 11 号 (2008/02) pp.62-73
24. 「『エレミア書』とホプキンズのソネット (177)」[単著]『南山短期大学紀要』第 36 号 (2008/12) pp.31-41
25. 「祈りの言葉と詩の言葉—ホプキンズの詩における命令表現」[単著]『南山短期大学紀要』第 38 号 (2010/12) pp.1-13
26. 「新聞報道と『ドイッチュランド号の難破』」[単著]『アカデミア』文学・語学編 第 93 号 (2013/01) pp.107-120
27. 「時代・風景・人 — ホプキンズの詩と変化への視線」[単著]『NONDUM』第 13 号 (2014/02) pp.16-27
28. 「ホプキンズ的エレジー『ユリディシー号の沈没』」[単著]『アカデミア』文学・語学編 第 94 号 (2013/06) pp.27-47
29. 「ホプキンズの詩における聖なるものへの呼びかけ」[単著]『アカデミア』文学・語学編 第 97 号 (2015/01) pp.67-79
30. 「靈感と比喩 — 表現価値から見たホプキンズの比喩表現 —」[単著]『アカデミア』文学・語学編 第 101 号 (2017/01) pp.57-79
31. 「フェリックスの涙 — 「フェリックス・ランダル」に込められた思い」[単著]『南山大学短期大学部創立 50 周年記念研究論文集』(2018/03) pp.35-44
32. 「「ビンジーのポプラ」における嘆きのスタイル」[単著]『アカデミア』文学・

語学編 第 105 号 (2019/01) pp.83-100